

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 29 事業名 行政資料事業

[事業基本情報]

分野別目標	6	基本計画の推進
政策	1	市民参加によるまちづくりの推進
施策	2	市民への説明責任の充実
取組		

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		一般管理費	
	大事業		市政情報課事業	
	事項		行政資料事業	

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	総務課	吉田 克行 (435-1018)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	市民の方に市の情報を広く知っていただくために積極的に公開していく。	実施機関から行政資料の収集を行い資料コーナーにおいて整理する。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		市民からの問い合わせの多い情報の内、資料として行政資料コーナーに置けるものを、各課から収集できるよう努めた。	市民からの問い合わせの多い情報の内、資料として行政資料コーナーに置けるものを、各課から収集できるよう努めた。	市民からの問い合わせの多い情報の内、資料として行政資料コーナーに置けるものを、各課から収集できるよう努めた。	市民からの問い合わせの多い情報の内、資料として行政資料コーナーに置けるものを、各課から収集できるよう努める。H24. 4. 1から市民の方に多く利用していただくため本庁1階に移設する。	

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	2,082	1,930	2,087	2,051	1,540	1,399	1,361				
	伸び率 (%)	-	-	0.2%		-26.2%						
	人件費	常勤職員	2,608	3,339	3,339	3,649	3,649	3,871	3,649			
		非常勤職員	2,160	532	532	1,053	1,053	1,434	1,053			
		小計	4,768	3,871	3,871	4,702	4,702	5,305	4,602			
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他	650	394	550	328	550	391	550				
一般財源 (税等)	1,432	1,536	1,537	1,723	990	1,008	811					
所要人数	常勤職員	0.34	0.44	0.44	0.48		0.51					
	非常勤職員	0.48	0.26	0.26	0.45		0.41					

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	行政資料提供数				年度目標値				
					実績値	96	△177	247	
	単位				全体目標値				
					全体目標達成度				
					年度別達成度				
成果指標	行政資料コーナーの活用を促進し、行政情報を積極的に公開していくよう努める。				年度目標値				
					実績値				
	単位				全体目標値				
					全体目標達成度				
					年度別達成度				
	行政資料数				年度目標値	2210	2220	2230	2240
				実績値	2133	1956	2203		
単位				冊	全体目標値				
				全体目標達成度					
				年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>B 1</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	行政資料の質・量が不十分なため利用者のニーズに答えられるようにより一層の充実を図る。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	行政資料の質・量の充実を図る。